



全国産業教育フェア秋田大会に視察に行ってきました

対象生徒 1年生 各科代表生徒 計5名

期 間 平成29年10月21日(土)～22日(日)

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業発表会

1 概要

「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」事業の研究指定校の生徒による実践内容や事業を通じて学んだ成果等についての発表とポスター展示。

2 発表・展示数

研究指定3年目の10校の生徒が発表。あわせて、22校(研究指定2年目10校、3年目10校、4年目2校)によるポスター展示。←来年度は、山口県での産業教育フェアで、新潟工業高校がポスター展示を行います。

(1) 事業の概要

(2) 具体的・特徴的な実践内容

実践内容や手法だけではなく、生徒の視点で、それらを通じてどのような資質・能力が身に付いたのかといった変容について記載。

(3) 成果と改善の方向性

個別の取組内容だけを取り上げてその成果等を強調するのではなく、実践内容や事業を通じて学んだ成果等について、目標の達成度を記載。また、事業を通じて学んだ成果も踏まえて、生徒が考える改善の方向性等についても記載。

3 会場 【秋田市にぎわい交流館AU】

〒010-0001 秋田県秋田市中通一丁目4-1

ロボット競技大会

新潟県勢で初の全国大会優勝!

優勝: 越野毘沙門天, 3位: 越野吉祥天

会場 【秋田県立武道館】



【生徒の感想】

機械科代表 来年、私たちの学校が何をやるのかをイメージできた。これから1年後2年後に自分たちで発表するときはどうやれば分かりやすく伝わるのか、話し方、パワーポイントのまとめ方が分かった。

電気科代表 今回の秋田の視察は、大変有意義なものでSPH事業がどのようなものかが分かり、SPHへの考えが深まり、現実味が出てきました。このSPH事業を成功することができるよう学習を頑張っていき、将来に役立てたいと思います。

工業化学科代表 秋田に行く前は発表の仕方や情報発信のことまで考えていなかった。SPHの内容も大切だが、発表のしかた、情報発信にも工夫があることが分かった。

土木科代表 先生の力をあまり借りずに、生徒が自分たちの力でやっていることが多くあることが分かり驚いた。

建築科代表 私たちが今年の発表校のような発表をするには、これから行われるSPHの活動にさらに積極的に取り組む必要がある。そして、SPH活動をよりよいものにするには、私一人だけではなく、クラス全員で取り組まなければならない。なので、今回の秋田の発表で分かった他の高校のSPHに対する考えをクラスに伝えていきたい。

生徒の変容

生徒は、実際にSPH事業の発表を目の当たりにし、2年後の自分たちの姿が見えてきていた。また、積極的に会場を動き回っている姿が印象的であった。SPH事業を通して成長している推進校の生徒を目標に、新潟工業高校の生徒も躍進していこうという気持ちを新たに視察になった。